

Ice Candle Museum 2020

第46回 しもかわアイスクャンドルミュージアム



2月15日、16日の2日間にかけて、第46回アイスクャンドルミュージアムが開催されました。今年のコンセプトはアイスクャンドルをきれいに魅せることです。

初日は点灯式、溪流太鼓の迫力ある演奏にはじまり、会場内の数千個にわたるアイスクャンドルが灯されました。



メイン会場ではアイスクャンドル、雪像、氷のオブジェを使ったたくさんの造形物や仕掛けにより会場全体がアイスクャンドルの幻想的な光に包まれました。列車裏のふるさと通りでは、約1,000個のアイスクャンドルが並べられ、来場者はアイスクャンドルの幻想的な雰囲気を楽しみながら道を進んでいました。

コモレビ会場では、カフェなどの出店とともに、手作り人形劇や町民のやりたいことを発表する場である「森の寺子屋」の発表会が行われました。

2日目は、イベントを中心に行われました。

メイン会場では、定められた地点に向け長靴を足でとばし、その正確性を競う「長靴(だけ)ジャンプ」や3人チーム内合計年齢が100歳を超えるよう編成し、そりを使って決められたコースの走行タイムを競う「チーム対抗!100才雪ぞりレース」、札幌吉本芸人である「つちふまズ」によるユーモアあふれるネタの披露もあり、バーベキューが行われた会場内は大盛り上がりでした。

また2日間にわたり、会場内にちりばめられた謎を解く「リアル謎解きゲーム」も行われたくさんの参加者



がおもしろく難解なクイズに挑戦しました。

2日間にわたり開催された第46回アイスクャンドルミュージアムは下川町の1大イベントにふさわしく大盛り上がりでした。